

# フェロモン剤＋LED防蛾灯でシロイチモジヨトウ被害も殺虫剤散布も激減します！

## 【背景・目的・成果】

近年、ネギ圃場等で多発しているシロイチモジヨトウに対して有効な殺虫剤は少なく、殺虫剤のみに依存しない防除技術が求められていました。現地で導入が進む、フェロモン剤による交信かく乱法は、10a程度の小面積圃場では効果が安定しないことが課題となったため、小面積でも有効な防除手段として、忌避・行動抑制効果を持つ黄色LED防蛾灯との併用試験を実施しました。

その結果、殺虫剤散布回数を大幅に減らし、被害の発生もほぼ完全に抑えることができました。

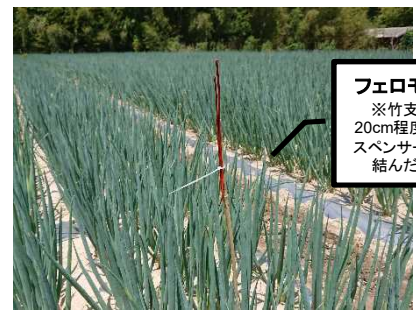
有効な殺虫剤が  
少ない！



ネギを食害する  
シロイチモジヨトウ幼虫



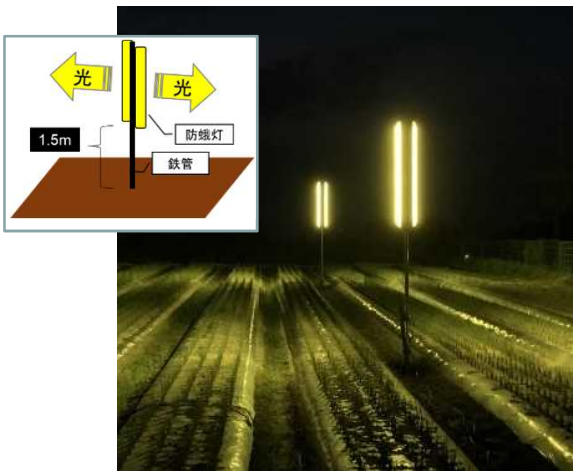
多発すると、ネギが壊滅状態  
となり収穫不能に…。



フェロモン剤  
※竹支柱に  
20cm程度のディ  
スパンサー2本を  
結んだ状態

フェロモン剤による交信かく乱法も有効  
だが、小面積では効果が安定しない。

## 黄色LED防蛾灯を設置すると…

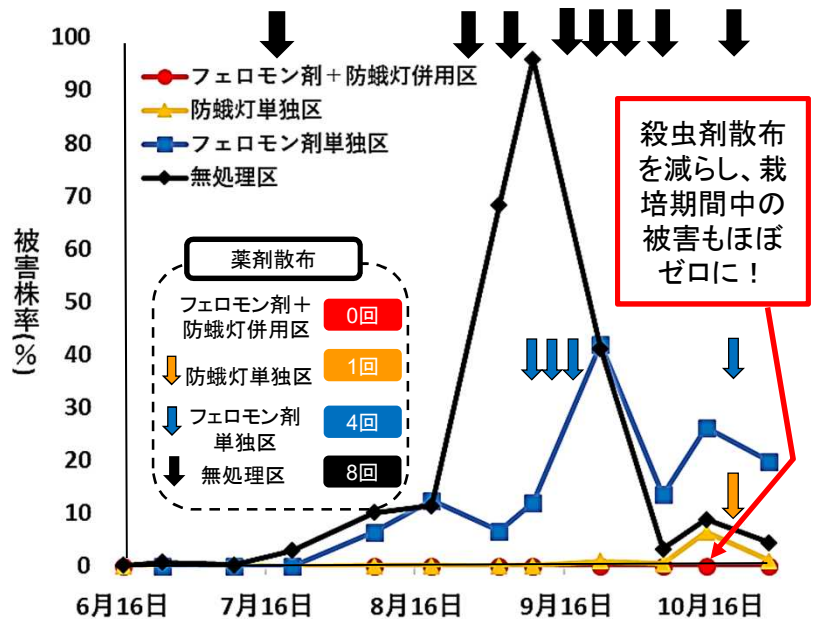


### 【黄色LED防蛾灯】

1198mm × φ25mmの直管形(県内企業:M社製)。現地で利用実績がある蛍光管型と同様の波長を有する。LED光源を利用しているため、省電力で明るい！

### 【設置方法】

2本の防蛾灯を1本の鉄管に背中合わせで固定して、圃場中央に設置し、水平方向に照射する(約4本/10a)。※最低照度が1 lx(ルクス)以上となるよう配置する。



シロイチモジヨトウによるネギの被害株率の比較  
※10a程度の小面積圃場で試験を実施

## 【技術の活用】

2ha以上の広域にまとまって施用できる場合は、フェロモン剤単独でも防除効果が高くなります。小面積圃場では黄色LED防蛾灯を併用、または単独で利用し、本種が多発生した場合、被害が集中しやすい9月中旬以降に収穫する作型では、10aあたり最大約7万円の利益向上が見込めます。

